

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

ツバメの保護活動に取り組んだとして、岡山県の企業・団体に感謝状が贈られました。記事を読み、質問に答えましょう。

Q1 ★★☆☆

日本野鳥の会が感謝状を贈った、岡山県の二つの企業・団体を記事の中から書き出しましょう。

Q2 ★★☆☆

二つの企業・団体は、どのような方法でツバメを保護しているでしょうか。第3段落や写真を参考に答えましょう。

Q3 ★★☆☆

日本野鳥の会はなぜ、ツバメの保護活動に感謝状を贈る取り組みを行っているのでしょうか。第2段落を読んで考えましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。



ツバメの成長を見守っているんだね

日本野鳥の会(東京)は、個体数が減少していると考えられるツバ

シネマ・クレール丸の内 みずの郷奥津湖
ツバメ保護 感謝状
 日本野鳥の会 県内初贈呈



シネマ・クレール丸の内の駐車場壁面に作られたツバメの巣。外敵から身を守るネットを設けている(日本野鳥の会県支部提供)

メの保護活動に取り組む企業・団体として、映画館「シネマ・クレール丸の内」(岡山市北区丸の内)と観光物産施設・奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」(鏡野町河内)を選び、11日、シネマ・クレール丸の内の感謝状を贈った。みずの郷奥津湖には18日に贈呈する。



ツバメの巣が10個以上ある「みずの郷奥津湖」の軒下。ふんを受ける傘をつるしてある(同支部提供)

同会が2019年に始めた取り組みで、県内から選ばれたのは初めて。鳥獣保護法で、ツバメなど野鳥の巣はひながいる間は原則撤去できないが、同会によると、衛生面から巣を取り除くケースが相次ぎ、そのことが個体数減少の要因の一つになっているという。

この日、日本野鳥の会県支部の丸山健司支部長(73)がシネマ・クレール丸の内を訪れ、「これからも協力してほしい」と浜田高夫支配人(70)に感謝状を手渡した。浜田支配人は「選んでくれた縁を大切にしながら保護に取り組んでいきたい」と話した。

同会では今年、県内の2カ所を含めて計6カ所に感謝状を贈ることを決めている。(福本尚純)